

## 地区ガバナーエレクト報告

地区ガバナーエレクト 畑山 裕子

新型コロナウイルス感染症の終息を見ないまま3度目の「緊急事態宣言」が発令されました。コロナ感染症が起こる以前に比べ日常は大きく変わりました。各クラブの皆様におかれましては、不自由な中でも工夫を凝らし、「奉仕の灯火」を照らし続けて頂いていることに感謝申し上げます。

今後は例会や地区セミナーにおいて、集合とリモートを取り入れた新しい在り方を模索して、誰も取り残さない、会員一人ひとりに寄り添った形を構築していく必要を感じます。

またアクティビティにおいても、奉仕を必要としている地域の方々に対し、「今出来る事を出来る形で」を考え、苦しいトンネルの向こうに見える光に向かい会員一同置かれた立場で共に頑張りましょう。

4月24日から6週続けて毎土曜日、国際協会バーチャルFVDG/DGEセミナーを受講します。国際協会初めての試みですが、全国35名のメンバーとしっかり勉強し、335-A地区をさらなる高みへと推し進めたいと願っております。

精一杯の愛と情熱で、皆様方のお役に立つことが出来れば幸甚に存じます。

## 次期第1副地区ガバナー報告

次期第1副地区ガバナー 浜原 正豊

コロナ禍で思うように活動が出来なかった1年でしたがあつという間の1年でした。たくさんの委員会を担当させて頂き色々な事を学ばせて頂きました。熊本豪雨災害への支援に始まりカバナー公式訪問への随行、会員増強セミナー、10月ライオンズDayでの一斉清掃、薬物乱用講座、各クラブの献血活動が実行されました。また、地区情報誌の充実やYCEの将来を考えてのノウハウの蓄積、レオのみんなの結束と成長、MyLionへの100%登録達成、女性会員9名の増員、今年1月に明石西SPフレンド支部が結成、ヘアドネーションに10クラブ53件の協力など、それぞれの委員会が厳しい状況の中でも色々な対策や工夫を凝らして奉仕活動を実践してこられたことに敬意を表したいと思います。

私達は目の前の困った方達や私達の奉仕を必要とされている方達に、「今できる事をやる」

という思いでやれば「できない事は何もない」と実感できた1年でした。

来期も周りの状況に左右されず精一杯奉仕活動に邁進していく所存でございます。

335A地区の皆様が元気で楽しく活動できるように尽力致しますので、ご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

## 次期第2副地区ガバナー・2R・2Z報告

次期第2副地区ガバナー・2R・2Zゾーン・チェアパーソン 山中 健

長かったような、あっという間のような一年が過ぎようとしています。

「新型コロナウイルス」の蔓延によって、大変な船出の今期でしたが、一年経ってもとうとう収束することもなく、その勢いは4回も大きな波が押し寄せる程、脅威を感じることもありました。

そんな中、ゾーン内の各クラブの役員の皆様におかれましては、大変な意気込みだったにもかかわらず、各アクティビティの延期や中止の判断を含め、例会でさえもその開催のあり方に腐心されました。

やがて皆さんの努力が実り、又ワクチン接種が効いて、元の楽しいライオンズライフが戻りますことも、そう遠いことではないと信じて頑張りましょう。

## 地区GLTコーディネーター報告

地区GLTコーディネーター 辰巳 博昭

コロナ禍で始まった今期です。委員会では、会員の皆様の安全を第1に考えての活動方針で臨みましたが、やはり感染拡大で、思うような活動が出来なかったのが残念です。

公認ガイディングライオンセミナーの実施と、第Ⅷ期ライオンズアカデミーを4回開催予定です。(3回実施済み)

新会員研修会は、当初リジョン毎に開催を計画しましたが、緊急事態宣言で開催出来なくなり、6月にオンラインでの実施を予定しています。

若手交流会を、委員会メンバーの企画で開催しようと思っておりましたが、飲食なしでは、難しいと考え中止を決定しました。やはり、今の状況に応じた方法を考えていく必要がありますね。

## 地区GMTコーディネーター報告

地区GMTコーディネーター 藤井 一弘

期首1879名でスタートし4月末現在で23名減の1856名となっております。今期、下副田ガバナーの最重要目標の一つが会員増強ということで、地区会員増強委員会もコロナ禍ではありますが委員会メンバー総力を挙げて取り組んで参りました。昨年8月28日の地区FWT委員会との会員増強合同セミナーでは100名を越える参加者を得て、いろんな角度から会員増強のお願いをし、9月からのガバナー公式訪問では、各ゾーンの皆様に懇談会、合同例会で直接会員増強お願いをして参りました。また11月からの第2回ガバナー諮問委員会には、地区GMT委員会のメンバーで各ゾーンを手分けして、それぞれ増強とクラブ解散回避をお願いし、いよいよ詰めの今年からは個別に各クラブ、特に会員の減り方の大きいクラブを重点に委員会で例会

訪問致しました。コロナ禍もあり当委員会からの来訪を断られることもありましたが出来る限り訪問させて戴きました。どちらのクラブも会員増強の意欲はしっかりとお持ちですがコロナ禍で身動きが全く取れないというご意見を最も多くお聞きしました。皆様の大変な状況は重々承知しております。しかしこんな時でも増やしておられるクラブが11クラブあり、ライオンズクラブの人に対する優しさ、そっと寄り添い励ます崇高な人間愛をこれからも怯まず力強く続けて行くためには、会員増強はあらゆる苦難を乗り越えても続けて行かなければならないと思います。またそれが出来るだけの地域社会における圧倒的な信頼、人望を得ておられるのがライオンズの皆様だと思います。今のところ会員減少の最大の要因でありますクラブ解散はお聞きしておりません。クラブ解散だけはなにがなんでも今期は0でお願いしたいと思います。地区会員増強委員会メンバーもすごい努力をしております。是非今期末には立派なプラスで終わりますよう皆様のご協力心よりお願い申し上げます。

### 地区FWTコーディネーター報告

地区FWTコーディネーター 坂井 一枝

前期、現況報告を致しておりますが3月現在まで纏めて報告いたします。

先ず活動方針を以下の3項目掲げ実施することに致しました。

#### 1. 地区GMT委員会、地区FWT委員会合同セミナー開催

8月28日(金)地区GMT・地区FWT委員会合同セミナーを開催し104名の参加を頂き335-B元地区ガバナー・名誉顧問L川野 浩史他3名の講師に会員増強・クラブ支部結成について講演をして頂きました。

#### 2. 女性会員増強とクラブ支部結成の推進に取り組む

①女性会員増強について7月期首368名で8月より17名の増員となったが12月末7名減1月1名の減、コロナ感染禍の影響で期末に減少しています。3月現在377名で期首より9名の増員となります。

②ライオネス・ブリッジ・プログラムが6月30日をもって終了となるので、335A地区内2ライオネスクラブの西淡ライオネスクラブ・尼崎武庫ライオネスクラブに家族会員、クラブ支部結成、移行の説明に訪問致しました。3月には西淡ライオンズクラブ会長と面談し、クラブ強化に繋るよう両クラブで話し合いをして頂き返答待ちの状況です。

③明石西ライオンズクラブは既に2クラブ支部を結成されていますが、1月にも明石西SPフレンド支部が結成され、3月24日、例会訪問をさせて頂き地区ガバナーL下副田博文のご尽力で結成された明石西SPフレンド支部会長・幹事が出席され和やかな例会でした。ヘアドネーション22件提供頂いたL伊藤の小児がんの子ども達への思いを伺い、感謝の念を深く致しました。

### 3. 小児がんについて理解を深め、奉仕に繋げる研修会開催

1月に神戸大学小児科准教授の講演と女性リーダー育成の講演でシンポジウムを計画したがコロナウイルス感染第3波拡大のため断念しました。

### 4. その他

① 子供食堂支援クラブ・クラブ支部予定クラブの訪問が中止や延期状態ですが、6月迄可能な限りクラブ訪問を予定いたしております。

② ヘアドネーション 11クラブ 56件

## 地区G S Tコーディネーター報告

地区G S Tコーディネーター 森岡 義雄

今期、地区G S T委員会は各クラブの活性化と新たなライオンズクラブの奉仕を目指してスタートしましたが、新型コロナウイルスの影響で、中々思う様に出来なかったのが現状です。そんな中、何とか各クラブと地域を盛り上げ「奉仕とインパクトと知名度の向上」を行いたい思いからライオンズデーに併せて一斉清掃アクティビティを企画させていただきました。また、この奉仕が各クラブの継続的に繋がることを期待してライオンズデーの「のぼり」を全クラブに5枚配布しました。各クラブの絶大なるご協力をいただき、今期の大きな「意義のあるアクティビティ」が出来たと思っております。

335複合地区G S T委員会からMyLion アクティビティ報告100%を目指すよう指示を受け、目標に達するようにG S T委員会で検討して参りましたが、事務局がない高齢者が運営しているクラブは大変厳しいとつくづく感じました。しかし気長く状況を説明し、ご協力のお願いをしながらキャビネット事務局員、第2副地区ガバナー、ゾーンチェアパーソン、地区レオ委員長と地区G S T委員全員のご協力をいただき、3月11日にMyLion アクティビティ報告100%決定の報告がありました。お陰様で素晴らしい日になりました。

335複合地区G S T委員会から、地域社会がどのような奉仕を必要としているのかを知るためのアンケート調査行う様に指示を受け、明石の小学校10校、警察官交通安全協会会長、介護施設管理者、更生保護士、税理士の皆さんからアンケート調査のご回答をいただきました。多くのご意見を参考にして今後のライオンズクラブのアクティビティについて考えて参りたいと思っております。

## 地区LCIFコーディネーター報告

地区LCIFコーディネーター 多田 仁三

今期、A地区LCIFの活動は、ガバナー運営方針「LCIFキャンペーン100の目標達成」を掲げ始めました。「キャンペーン100」は、3年前にライオンズクラブ国際協会設立100年、LCIF設立50年を機に始まり今期が最終年度でした（新型コロナウイルス感染症の影響で1年延長）。

今期のA地区資金獲得目標額は過去2年間と同様の26万ドル。この目標を達成するため、下副田ガバナーのキーワード「根気と努力で為せば成る We Serve」でキャンペーンコーディネーターL堀本、委員長L福田、副委員長L淵上、委員L濱本、L戸村と活動に取り組む計画でしたが、コロナ禍で思うように活動が出来なかったのが現況でした。

地区LCIFコーディネーターとしては、9月15日から10月3日までガバナー公式訪問に随行し「目標達成には69クラブ全会員から1人100ドル寄付をいただきますと目標額の約70%達成することになる」ことをお願いしました。

また、現況のコロナ禍、どのクラブも例会やアクティビティに大変苦勞されていることは十分承知のうえで、12月28日付でクラブ会長・幹事・クラブLCIFコーディネーター、1月14日付でゾーン・チェアパーソン各位に「地区LCIF委員会からのお願い（1人100ドル寄付）」をさせていただきました。

2月15日に開催された第3回ゾーン・チェアパーソン会議及びキャビネット会議でも、全クラブ1人100ドル寄付をお願いしました。

2021年3月末現在、A地区は約22万ドルのご寄付をいただき、目標額26万ドル（達成率85%）まで、あと少しのところまで来ております。これもひとえに、会員皆様方の“お力添え”の賜物と心から感謝申し上げます。

しかしながら、目標額を達成するには、あと4万ドルのご寄付を会員皆様方へお願いする必要があります。

A地区目標額達成に向け、6月末まで地区LCIF委員会はメンバー一丸となり“お願い！お願い！”を続けますので、何卒、皆様のご理解とご協力を衷心よりお願い申し上げます。

## 地区LCIFキャンペーンコーディネーター報告

地区LCIFキャンペーンコーディネーター 堀本 雅也

地区ガバナーL下福田弘文の施策に、LCIF目標達成しようと、掲げる中、会員の皆さんにご協力を頂き有難うございました。

キャンペーン100が設立され今年で3年目に当り、LCIF委員長L福田信也筆頭に、あの手、この手として委員会は頑張りましたが、3月15日時点では目標の、85%しか寄付が集まらず、3ヶ年連続して目標に達成することが出来ませんことを残念に責任を感じています。参考に、B、C、D地区は目標を大幅に達成しています。期間も3ヶ月強ございます。なんとか達成してA地区の名誉のためにも、ご協力の程お願いします。



## 1 R・2 Z 報告

1 R・2 Z ゾーン・チェアパーソン 下村 隆

新型コロナウイルスの影響で、ゾーンの活動は大きな制約を受けております。そのような中、1R2Z では本来は2月に予定しておりました第3回ゾーンミーティングを1カ月延期し、3月26日に全クラブの会長、幹事の方々に集まって頂き開催することが出来ました

各クラブとも例会の開催、アクティビティの実施には大変慎重に行動し感染予防のため、例会は書面によったり忘年例会を中止したり、対面でのアクティビティは自粛したり色々対策をとって活動されています。

LCIF 献金は LCIF コーディネーターのご尽力もあり全クラブの献金達成が出来ました。さらにアクティビティ予算のうち未消化分を追加で献金頂ければとお願いしています。

地区年次大会も異例の形となり大変残念ですが、このような緊急事態の時にこそライオンズクラブの力を結集しその存在価値を高められるよう願っています。

## 1 R・3 Z 報告

1 R・3 Z ゾーン・チェアパーソン 平野 昌司

今期私達のゾーンではコロナ禍にあってもまず出来るだけガバナー公式訪問は開催する、という目標を掲げ、多数参加者を得て、食事なしお茶のみで無事開催することが出来ました。また地区の最重要目標の会員増強は14名増加でゾーンとして地区1位。

LCIFは地区第2位。など実績を挙げる事が出来ました。また私達ゾーンから地区に4人の地区コーディネーターと重複していますが5人の委員長を輩出し一年間に渡り力強く地区を支えて参りました。ゾーン合同のアクティビティであります骨髓バンクチャリティーゴルフ大会はコロナ禍で中止とはなりましたが、支援金は例年通り拠出し、また地区統一アクティビティのライオンズデーでは全6クラブが清掃会参加しました。コロナ禍でも一年間を通して成果のあったと思える年になりました。

ゾーン運営委員L藤井一弘、各クラブ会長をはじめとする皆様のご協力に感謝申し上げます。

## 2 R・4 Z 報告

2 R・4 Z ゾーン・チェアパーソン 吉田 雅紀

ゾーンの継続事業である東北被災地復興支援事業の最終年となるにあたり、3月15日に南三陸町に向けた桜の苗木の出発式を、下副田ガバナーをお迎えし西宮花工房において開催しました。そして5月21日に南三陸町町役場において贈呈式を行います。また、合同アクティビティである「西宮5LC連合こども10番のくるま」の実施に向けても進行中です。

第3回諮問委員会は2月27日、地区GMTコーディネーターであるL藤井をお迎えし開催しました。会員増強をメインに諮問内容について意見を交換し有意義な時間となりました。

毎月開催するゾーンミーティングが西宮5ライオンズクラブの連携を深める大きな力となっていることは間違いありません。今後もこのミーティングをもってゾーンの発展に繋がりたい。

### 3R・1Z報告

#### 3R・1Z ゾーン・チェアパーソン 浦上 雅史

8月6日、第1回ガバナー諮問委員会に始まり、9月23日にはガバナーを迎えての公式訪問例会を予定しておりましたが、コロナ感染予防のため中止とし、12月3日の第2回ガバナー諮問委員会に於いて、ようやく下副田ガバナーに御来島いただき、バナーの交換をすることができました。ホストの三原ライオンズクラブには、会場予約並びに設営のご協力を賜りました。

2月18日、第3回ガバナー諮問委員会は、コロナ感染症緊急事態宣言発出中のため、まとめさせていただいた諮問委員会回答書をもって書面にての開催となってしまいました。キャビネット会議での当初からの依頼事項であるLCIF100ドル献金、および会員増強についても書面にての依頼となりました。会場予約を頂きました、ホストの津名ライオンズクラブには、大変申し訳なく思っております。

本期の当初から、コロナ感染予防のため、ゾーンアクティビティも大したことはできず、10月のライオンズデーにあわせた清掃奉仕を提案させて頂いた程度でありました。

ゾーンに対しては何もできなかったというのが率直な気持ちで申し訳なく思っています。ただ、個人的ではありますが、8月後半に島内7クラブ(LSCを含む)に表敬訪問させていただき、各クラブのメンバーと親しく交わることができたのが、ゾーン・チェアパーソンを務めさせて頂いた最大の喜びであります。

最後に、何かとご協力いただき、ゾーンを支えて頂いた3R・1Zの各クラブの会長、幹事の皆様、そして地区委員の皆様に感謝申し上げ、報告とさせていただきます。

### 4R・1Z報告

#### 4R・1Z ゾーン・チェアパーソン 荒木 郷志

この一年、ZCとして何が出来たのか問いかけてみた、やはり何も思い浮かばない。コロナ禍で始まりゾーンで何か出来ることはないかを、ゾーンミーティングで問いかけ、医療従事者への感謝を込めて、丹波医療センター周りの草刈りをご提案いただいたが、この災禍の中、会員に無理はさせられないと有志での実施で終わった。

国際会長のメッセージに「思いやりと多様性で結束する」と掲げられている。また今

期社会福祉委員長からの案内文に「真剣に考えると知恵がでる」ともあります。

その中各クラブ、ホントに知恵をしばっていたと思います。緊急事態宣言中における公共施設等の利用制限等の中、密を避け屋外での例会の開催、薬物乱用防止教室のズーム開催、年度計画より多くの献血奉仕への取り組み、医療センターへの新型コロナ基金への寄付等、多くの知恵とサービスを行っていただいたライオンに感謝を申し上げます。第3回諮問委員会については上記のとおり、例会開催状況、アクティビティについて確認を行い、LCIFへの目標達成へのお願いをしました。

#### 4R・2Z報告

#### 4R・2Z ゾーン・チェアパーソン 向井 祥隆

令和2年はコロナウィルス感染症の恐怖に世界中が震撼させられた1年でした。その恐怖は変異ウイルスによって更に拡大し、兵庫県でも第4波は非常事態宣言の有無に関係なく私たちの身近なところでの感染者に驚く日が続いています。ライオンズクラブの例会とアクティビティは各クラブの判断に委ねていましたが、非常事態宣言下においてはすべてが中止、解除された期間においても様々な取り組みでライオンズクラブの活動をしていただきました。6クラブの判断と勇気ある挑戦に敬意を表します。ゾーンチェアパーソンとして各クラブを訪問させていただいたことは大きな意義がありました。また下副田地区ガバナーをお招きし激励いただく訪問例会の機会も実現できました。少年野球チームの激励ができたこともコロナ禍にあって最善の取り組みができたと喜んでいきます。願わくば、各クラブ役員が顔を合わせる諮問委員会が実現できればと願うばかりですが、一日も早いコロナ禍の終息を願っています。

#### 地区会則委員会報告

#### 地区会則委員長 松本 晃一

会則委員会としては、現在のコロナ禍において、なかなか積極的な活動はできておりませんが、地区委員会・クラブ等、あるいはキャビネット事務局からの会則に関する質問や相談に応えることが、主な活動になっております。

第2回ガバナー諮問委員会の質問書にて、各クラブの会則や内規の有無について質問をさせていただきました。有りというクラブが41クラブ、無しというクラブが28クラブとの回答がありました。今後、委員会として特に会則が無いクラブに対し、クラブ会則の作成を検討していただきたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。

今期は、地区の内規や規定等の見直しを検討して参り、第4回キャビネット会議に、まとめて改正案を上程いたしました。

今期も残り少なくなりましたが、今後も、各クラブ・メンバーに会則についてのご理解を深めていただけるよう、努力いたします。



## 地区LCIF委員会報告

地区LCIF委員長 福田 信也

今期のLCIF委員会は、「LCIFキャンペーン100の目標達成」につきまして全クラブとメンバーの方々へのご理解を深めるのと共に日頃よりご寄付いただいております皆様への感謝の気持ちを忘れず活動してまいりました。コロナの影響で12月に延期されたセミナーも、元地区ガバナー名誉顧問L三宮、第1副地区ガバナーL畑山を講師としてお迎えし、例年より多数のご参加、ご関心をいただきました事は、未来へと繋がる重要な成果であったと感じております。

さて、現在各ゾーン・チェアパーソンのお力を借り、各クラブへの1人100ドルのご寄付をお願い致しております。また、LCIF委員会のメンバー全員で再度のお願いを続けてまいりますので、宜しくお願い申し上げます。

「世界最大の奉仕団体」と称されておりますライオンズクラブの誇りを胸に、今少しのご協力が得られます事を確信しております。

## 地区MC・IT委員会報告

地区MC・IT委員長 中嶋 成光

### ○ 地区情報誌について

地区情報誌は今期も年4回発刊させていただき、構成から発送まで一貫して委員会で行っております。コロナ禍で地区、クラブの色々な事業や行事が延期や中止になっている中、本当にたくさんのご投稿をいただきありがとうございました。

- 1号 2020年9月発行では、兵庫県知事との対談、元地区ガバナー・地区役員・クラブ会長の紹介、クラブアクティビティ等について掲載
- 2号 2020年12月発行では、地区ガバナー公式訪問、第33回国際平和ポスター・コンテスト、ライオンズデー、新会員「ライオンズに入会して」の掲載
- 3号 2021年3月発行では、地区ガバナー及びゾーン・チェアパーソン「上半期を終えて」、楽しいクラブ例会特集、今期100歳以上の「先輩ライオンに学ぶ」等を掲載
- 4号では、年次大会を中心に多彩な内容で最終号を発刊させていただきますので、引き続きご協力のほどお願い申し上げます。

### ○ 国際平和ポスター・コンテストカレンダーについて

今期で2回目となった国際平和ポスター・コンテストカレンダーは、コロナ禍で参加学校も半数の52校、作品も三分の1の443枚になりましたが、前回より150部多い1350冊のご発注をいただきました。ありがとうございました。

### ○ 335-A地区公式LINEについて

今期はじめて335-A地区公式LINEを導入させていただきました。スマホをお持ちの方であれば、日頃から連絡手段としてLINEを使われている方が多いと思いま

す。友達登録をして頂く事で、地区の情報やクラブのアクティビティ、地区ガバナー活動報告、地区ホームページ、地区情報誌等、スマホで簡単に閲覧できます。登録がお済でない方は是非とも友達登録のほどお願い申し上げます。

## ○ Go to Lions について

現在、335 複合地区においてライオンズメンバーの経営する飲食店を掲載無料で公開するスマホ用サイト「Go to Lions」を運営しております。

この Go to Lions は、コロナ禍で影響を受け退会せざるを得ない会員がいる中、ライオンズとして準地区をまたいで少しでも、メンバーを応援することが出来ないかと言うことで企画いたしております。3 月上旬に各クラブへ飲食店を営んでおられる方が何店舗あるのかアンケート調査を開始し、3 月中旬に対象者にご登録申請をしていただいております。

会員の皆様にはこの趣旨をご理解いただき多くのご登録とご利用をお願い申し上げます。

委員会として地区・クラブの活動情報の発信をして参りましたが、各クラブのご支援とご協力に改めて感謝申し上げます。

## 地区 Y C E 委員会報告

地区 Y C E 委員長 横田 和邦

2020 年度は、世界中に拡大した、新型コロナウイルス感染症の影響で、YCE の夏期・冬期の派遣・受入事業は全てキャンセルとなりました。

今後の YCE は、派遣生および受入時のホストファミリーの皆さんの安全が確保されてから、事業を再開する予定です。

今期は、これまでの YCE を振り返り、課題を棚卸して解決策を整理いたしました。

### <派遣事業>

335-A 地区には派遣生の OB/OG 会が無く、帰国後の派遣生の状況を地区委員会で把握できていませんでした。

今期は、LEO クラブ・LEO 委員会と連携して、派遣生は帰国後 3 年間、LEO クラブに所属して、ライオンズの奉仕活動に参加することをルール化し、2018 年夏期派遣生 1 名に神戸セントラルレオクラブに入会していただきました。

これを機に、YCE・LEO の活動が今後ますます活性化することを期待しています。

### <受入事業>

これまでホストファミリーの活動や成果は他のライオンズメンバーとあまり共有されていませんでした。

今期は、335 複合の 4 地区で協力して、ホストファミリーの体験談を募集し、一冊の冊子にまとめて発行いたしました。

各クラブに 3 冊ずつ配布させていただきますので、是非お手に取ってお目通しいただきホストファミリーの重要性・喜びを共有していただけたら幸いです。

YCE 事業はライオンズクラブの奉仕活動の中でも、とても重要で有意義なアクティビティのひとつです。

事業再開時には、引き続きご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

## 地区レオ委員報告

地区レオ委員長 高 龍秀

前期に引き続き今期も新型コロナの影響で各レオクラブは活動に大きな制限がかかっている。

神戸レオクラブが解散し、現在 335-A 地区は、神戸セントラルレオクラブ、尼崎レオクラブ、西宮レオクラブの 3 クラブになってしまったが、各クラブ例会並びに地区協議会は、感染状況を見ながらオンラインとリアルを組み合わせ毎月開催している。

恒例事業である年末チャリティバザーや児童育成キャンプなどが中止となり、思うようにアクティビティが行えていないが、そんな中でも主だった事業として下記のような活動を行った。

- ・リーダーシップ研修会 (9/5) を開催し、レオクラブ新人に対して研修を行った。
- ・地区 YCE 委員会と共同活動に向けてのミーティング。
- ・オセアル ZOOM ミーティング参加 (9/11)
- ・今期新たな試みとしてレオ新聞を発行。各ライオンズクラブに配信してレオを知ってもらおう。
- ・尼崎レオクラブ 50 周年記念式典 於：都ホテル尼崎 (10/18)
- ・三宮地域の清掃活動 (2/11)。25 名が参加しライオン誌にも掲載された。
- ・児童育成キャンプの代わりに養護施設の子どもたちに文具寄贈。
- ・SNS を駆使して会員拡大を行った。
- ・神戸セントラルレオクラブが、神戸甲南ライオンズクラブを新規スポンサーとして迎えた。
- ・その他各レオクラブ内でもアクティビティを開催。

その他現在、このコロナ渦だからこそレオ活動を多くの人に広く知ってもらいたいという思いから、PR 動画を作成中。レオメンバーが作詞し、プロの協力のもとオリジナルソングを作曲。そしてプロ監修による本格レコーディングまで行った。自分たちでダンスやメッ

ページ内容を考えて動画編集も行っている。

完成した動画は4/24のレオ地区年次大会で発表し、今後 You Tube や SNS などの媒体を通じて発信していく予定である。

## 地区社会福祉委員会報告

地区社会福祉委員長 岡田 政光

口を開けばコロナ、コロナですが、隙間を縫って献血出前講座「真剣に考えれば知恵が出る献血出前セミナー」を、4月20日に開催しました。日赤側から2名コロナ対策の最中でしたが4R2Z 篠山クラブまでお越し頂きセミナーを開催致しました。コロナ感染予防対策として受ける側として例会場窓は全開し、席の間に仕切り板を設置して頂きプラス時短で終えて頂きました。

現在、国の緊急事態宣言の発出があり委員会として、八方ふさがりの状態です。その中でも兵庫県盲導犬協会から依頼の「クラウドファンディング」を全クラブにお願いをしていますが、これも4月30日が最終になっていますので、是非ともゾーン単位・クラブ単位・個人の方からのご支援を期待しています。

話は変わり、前期にも掲載していたワクチンの接種がこのままでは6月以降となりそうですね、政治と宗教には関わらないとなっていますが、このままではライオンズクラブの活躍の場がなく低迷しそうです、政治も信念をもってしっかりして頂きたいですね。

とにかく、前年11月からは委員会としては何も出来ていません、ガバナーから委員会を任されていますが委員会メンバーには大変申し訳なく思います。今年次が残り1ヶ月半、今自分自身に何が出来るか自問自答しながら前向きに頑張ります。

とにかく今は、何処へも行かない迎え入れないことを徹底し、早く現状から抜け出し、本来のライオンズ活動が出来ます様願っています。

## 地区ライオンズクエスト委員会報告

地区ライオンズクエスト委員長 土田 壮太郎

### 1 活動報告

令和3年3月26日、335複合地区の委員等を対象にしてオンラインセミナーが行われました。

現委員や殿堂入りしている元委員長のほか、畑山第1副地区ガバナー、浜原第2副地区ガバナーにもご参加頂くことができました。ありがとうございます。また、無理言ってご参加頂いたキャビネット事務局の村上様のご感想は、是非みなさまにお伝えしたいので、この紙面をお借りして記載させていただきます。

「初めてクエストのワークショップを体験しました。私の子どもの保育園においても、声の大きい子におとなしい子が従っているような状況が見られ、いじめが始ま

っていると感ずることがあります。園の先生方からの報告はありますが、「そんな感ずで終わり？」と思うこともあります。もっと子どもたちが自ら考え、自分達で解決方法を探るように指導してくれたらなあなんて思っていたところ、このセミナーはピッタリだと思いました。是非うちでも取り入れてほしいです。」

以上

### 地区青少年健全育成委員会報告

地区青少年健全育成委員長 永田 雅章

今年度、委員会を挙げてリードしていく予定であった地区アクティビティでもある神戸まつりでの「薬物乱用防止」アピールのパレードが、昨年に続きパレード中止の連絡があり、断念せざるを得なくなりました。その中で全国的にも運営上、参加人数の問題で中止になっている地区も多い「薬物乱用防止教育認定講師 養成講座」を皆様のご協力とご理解のお蔭で、昨年11月30日に実施できたことは、大変喜ばしい事でした。改めて委員会を代表しまして感謝申し上げます。

今年度は、地区全体でも「薬物乱用防止教室」自体のアクティビティも当然のことながら実施出来たクラブも少なく、委員会としても十分なサポートが出来なかったと反省しています。

その中であるクラブが、地域の小・中学校にアンケートを実施した所、「薬物乱用防止教室」に留まらず、子ども達が元気になるような講師招待への協力等、様々な要望が見られました。

コロナという状況は、今後我々を取り巻く環境や文化も変化させていくかもしれません。継続してきた取り組みに加えて、新たなアクティビティをスタート出来るような情報を次期の委員会に引継いでいけるように、残りの期間を当委員会のメンバーで取り組んで参ります。

### 地区国際大会・迎接委員会報告

地区国際大会・迎接委員長 中西 学

○2021年の国際大会は、長引く新型コロナウイルスの影響により、会場へ出向かずにバーチャルで行うことになりました。申込の詳細につきましては、3月5日付で各クラブに大会登録と代議員登録のお願いをしております。

335-C地区より、国際理事候補者としてL永田 賢治が立候補をされておりますので応援のほどよろしく申し上げます。今までの国際大会ですと大会が開催される現地まで足を運ばないと投票または、国際大会の雰囲気味わうことができませんでしたが、今回は、日本にいなから参加することができ代議員登録をしていただければ、貴重な一票を投じることができます。是非とも各クラブより1名は大会登録及び代議員登録をお願いします。



## 地区アラート委員会報告

地区アラート委員長 橋本 維久夫

2020年7月下副田キャビネットの開始早々、九州南部を中心に豪雨災害が発生。

下副田ガバナーと協議の上、最も被害の大きかった337E地区7Z（人吉、免田、錦、芦北、水俣LC）に向けてミネラルウォーター1500ケース（36000本）を送付。7月9日に午前9時に現地到着。

同日人吉市災害ボランティアセンターが開設され即刻500ケースをボランティアセンターに7Z内クラブメンバーに運び込んでいただきました。

また、義援金におきましてはクラブ to クラブでの送金をお願いいたしましたところ合計1,710,000円が送金されました。また支援物資の送付もいただきました。

### 335A 地区内クラブと市町及び社会福祉協議会との災害ボランティア協定

地区内で大規模災害発生時の支援活動についてクラブと所属する市町及び地区社協間の協定締結をお願いいたしております。

ZCの皆様にはご尽力いただき感謝いたしております。

現在3R2Z（明石市内7クラブ）と明石市との災害協定が締結され、合わせて明石社協とは災害時のボランティアセンターでの団体登録を済ませております。

3月末現在1R内3Zと神戸市、4R1Zと丹波篠山市・2Zと丹波市との協定に向けて協議をいただいております。（3月末現在）

## 地区年次大会委員会報告

地区年次大会委員長 向井 博司

地区年次大会実行委員長 中田 哲也

ライオンズクラブ交際協会335-A地区の第67回地区年次大会委員会を代表し、全クラブ会員の皆様に心から厚く感謝申し上げます。去る4月18日の大会は今再びのコロナ禍のまん延により当初の予定が大幅な変更を強いられました。代議員会は郵送、晩餐会は中止、式典は5月22日に繰延の予定とその影響はとても大きいものがあります。現在の緊急事態宣言の発出の中、式典の開催も危ぶまれるところであります。次期キャビネットへのバトンタッチがスムーズに成し遂げられるよう最後まで全力を尽くしてまいります。何卒ご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。

## 地区キャビネット運営委員会報告

地区キャビネット運営委員長 田中 操

今期もいよいよ終わりに近づいてまいりました。コロナ禍でのガバナー公式訪問が始まり、第4回キャビネット会議もコロナ禍でのZOOM会議となり終わる様で大変残念な一年となってしまいました。地区行事も実施すべき事が出来ず、

大変はがゆい思いばかりでした。地区キャビネット運営委員会も十分な対応が出来ず申し訳ないと思っています。この様な中でも、皆様方のご理解、ご協力を頂き終わろうとしています。大変有難うございました。

来期はコロナも収まり皆様方の本来の活動が出来る事を願っています。

### 335 複合地区FWTコーディネーター（副）報告

335 複合地区FWTコーディネーター（副） 秋本 久美子

今年度はコロナ禍で終始しました。その中において全日本FWT会議、複合FWT会議に対面で1回、ZOOMで各4回出席しました。

統一の課題：女性、家族会員、支部作り、ヘアードネーション、アドボカシを取り込んだ「こどものみらい古本募金」の報告です。地域差もありながら各コーディネーターの努力に感心する以上に学びがありました。難しい状況においてなお、今、出来ることを探し実践する女性の感性、眼力には改めて納得しております。

何事も男女会員共に協力することによって大きな実りになると実感しました。

地区においても、クラブアクティビティとして定着しているヘアードネーションの更なる拡大を期待します。多様性のある支部の存在はクラブの活性化にもなり、今後も会員増強として確かな位置づけになると思います。

複合の関わりにおいてA地区に対する思いが増し、改めて皆さまのご協力に心から感謝を申し上げます。

### ライオン誌日本語版委員会報告

ライオン誌日本語版委員長 団 英男

ライオン誌日本語版委員会は、毎月定期的に委員会を開催いたしました。毎回委員会では、多岐多様な内容でより良いライオン誌を目指して委員会一丸となって会員の皆様のために役立つ紙面づくりに励みました。

コロナ禍においても創意工夫して行われているクラブ奉仕活動などをタイムリーお届けしています。335-A地区からもクラブレポート、獅子吼の投稿などご協力をいただきました。

さて、ライオン誌は現在大きな遷移が起きています。印刷誌に頼る時代からインターネットを活用する時代への変化です。インターネットを活用することで、印刷版のように紙面のスペースに制約を受けず、また動画など紙面ではできない付加価値があり、報告がタイムリーにできる、膨大な情報を簡単に検索できる、コストがかからない、スマートフォンなどで手軽に検索できるなどの様々なメリットを享受できます。

引き続き、ライオン誌にご協力をお願いいたします。

以上ライオン誌日本語版委員会の報告といたします。一年間お世話になりました。

一般社団法人日本ライオンズアラート委員会 335 複合地区班長報告  
一般社団法人日本ライオンズアラート委員会 335 複合地区班長 藤之原美津子

新型コロナウイルス変異種の感染拡大により、今年のゴールデンウィークも緊急事態宣言が発令され、地区内各クラブにおかれましては、例会はもとより奉仕活動が制限され、もどかしさを痛感されているのではないのでしょうか。

下記に日本ライオンズ・アラート委員会令和3年2月～4月の活動報告をいたします。

- 1、2月5日（金）204 地区（グアム島）へのコロナウイルス感染予防対策物資の支援贈呈式がWEBにて開催されました。  
（詳細はライオン誌(1・2月号、および3・4月号)をご覧ください)
  
- 2、2月福島県沖で発生した地震により、被害の大きかった相馬LCと新地LCに下記の支援をいたしました。

①ブルーシート	200 枚	325,600 円	
②土嚢袋	40 パック	43,120 円	
③ポリプロピレンMSロープ	38,500 円		合計支援金額 407,220 円

（支援金に関しては社団の資金から拠出されました。）
  
- 3、4月14日 日本ライオンズ・アラート委員会全体会議がWEBにて開催されました。

※皆さま、引き続きコロナ感染予防にご留意の上お過ごしくださいませ。